

科目名		イベントプランニング		担当講師		横山 聡史	
講師実務経験		広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー					
対象学年		2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	演習
期 間		7・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
7期		自ら情報収集・企画立案・企画書・実施案を制作する過程を学び修得する。					
8期		実際の現場での行動を通して、判断力・コミュニケーションなど、共に作り上げていく工程を学び修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月17日	グループ分けを行い、企画テーマについてオリエンテーション。 グループごとに基本的な案出し(ブレインストーミング)を行い、課題解釈力と企画工程を学ぶ。					
2	10月24日	企画実習① 情報やデータ収集とともに、円滑なコミュニケーションを保ちながら企画を形にしていく工程を学ぶ。					
3	10月31日	企画実習② 自らの企画を再考し、より良い内容にしていく工程を学ぶ。					
4	11月7日	企画実習③ 出された案を整理・統合し、企画案としてまとめていく工程を学ぶ。					
5	11月14日	企画実習④ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。					
6	11月21日	企画実習⑤ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。					
7	11月28日	企画実習⑥ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。また関連する各コースに対し、的確に情報を伝達する必要性を学ぶ。					
8	12月5日	1班シミュレーション 実施案に基づいてゲネプロを行い、自ら課題点を修正する工程を学ぶ。					
9	12月12日	2班シミュレーション 実施案に基づいてゲネプロを行い、自ら課題点を修正する工程を学ぶ。					
10	1月16日	3班シミュレーション 実施案に基づいてゲネプロを行い、自ら課題点を修正する工程を学ぶ。					
11	1月23日	1班イベント本番 企画と実施案を忠実に現場で反映させると共に、必要に応じて現場判断する工程を学ぶ。					
12	1月30日	2班イベント本番 企画と実施案を忠実に現場で反映させると共に、必要に応じて現場判断する工程を学ぶ。					
13	2月6日	3班イベント本番 企画と実施案を忠実に現場で反映させると共に、必要に応じて現場判断する工程を学ぶ。					
14	2月13日	反省会 自らを客観的に評価した上で報告書を作成し、相互に課題点と打開策を検討する。					
15	-						
評価方法		【A】 定期試験点数(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		84時間中29時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		ビジネスマナー		担当講師		千葉 彩乃/作山 厚	
講師実務経験		コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事 ファンクラブサイト運営会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態	座学
期 間		7・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
7期		挨拶や言葉使い、身だしなみを身に付け、周囲とのコミュニケーションを修得。					
8期		電話対応や、メール対応などの社会人としてのマナーを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	授業ガイダンス / ビジネスマナーがなぜ必要なのか？					
2	10月25日	敬語について					
3	11月1日	敬語について-復習 / 日常的に使う言葉、業界特有の敬語や言葉遣いについて					
4	11月8日	雑談のマナーについて(上司や目上の方とのコミュニケーション)					
5	11月15日	練習問題					
6	11月22日	挨拶について					
7	11月29日	身だしなみについて					
8	12月6日	報告・連絡・相談について					
9	12月13日	練習問題					
10	1月17日	電話、メールのマナー・ルールについて					
11	1月24日	業界マナーについて					
12	1月31日	練習問題					
13	2月7日	車の座席について・応接や会議室の座席について					
14	2月14日	定期試験対策					
15	-						
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		必要に応じて資料を配布					
注意事項		14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		マネジメントⅡ		担当講師		佐藤 喬	
講師実務経験		株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントで2012年～現在までアーティスト、タレントの新人発掘及びマネジメント業務					
対象学年		2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	講義
期 間		7・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
7期		アーティスト、タレントのマネジメント業務の応用を修得する。					
8期		アーティスト、タレントのマネジメントを模擬実践を踏まえて修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	前期の振り返りとまとめ					
2	10月25日	マネジメントと他音楽関連会社の業務の関係性について					
3	11月1日	SNSを使った効果的な宣伝について①					
4	11月8日	SNSを使った効果的な宣伝について②					
5	11月15日	SNSを使った効果的な宣伝について③・プレゼンテーション					
6	11月22日	効果的なプロモーションを実践的に考える①					
7	11月29日	効果的なプロモーションを実践的に考える②					
8	12月6日	効果的なプロモーションを実践的に考える③・プレゼンテーション					
9	12月13日	コンプライアンス・SNSマナー・他注意事項などについて					
10	1月17日	長尺のイベントライブにおけるセットリスト制作および指示書の制作①					
11	1月24日	長尺のイベントライブにおけるセットリスト制作および指示書の制作②					
12	1月31日	長尺のイベントライブにおけるセットリスト制作および指示書の制作③					
13	2月7日	音源制作の依頼について・メール文面制作など					
14	2月14日	前期後期のまとめ・テスト対策					
15	-						
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		なし					
注意事項		28時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		選択 照明実習		担当講師		向出 敦子	
講師実務経験		照明会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	各専攻		授業形態	実習
期 間		7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		舞台照明の基本について修得する。					
8期		4Fホールのシステムと操作卓について修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	照明機材やケーブルについて					
2	10月25日	機材の仕込み方について(点灯するまでの仕組み)					
3	11月1日	配線ケーブルや変換ケーブルを使用する仕込みについて					
4	11月8日	カラーフィルターやフォーカスについて					
5	11月15日	フロア仕込みについて					
6	11月22日	フォーカスの名称について					
7	11月29日	操作卓について					
8	12月6日	ケージの強弱や明りの組み合わせについて					
9	12月13日	シーンづくりについて					
10	1月17日	復習仕込み(過去図面を使用)					
11	1月24日	応用仕込み①					
12	1月31日	応用仕込み②					
13	2月7日	実技テスト対策					
14	2月14日	実技テスト(予定)					
15		※教科書「舞台テレビジョン照明」、筆記用具持参					
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		PA(選択授業)		担当講師	久本 晃三		
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	PA選択者		授業形態	実習
期 間		7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		PAの機材、仕事内容を理解し基本的な取り扱いを修得する。					
8期		簡易PAシステムの設置 & モニターオペレートを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	オリエンテーション、ケーブル巻き、PA仕事説明					
2	10月25日	PAコンソール(卓)、モニター仕込み図説明					
3	11月1日	仕込み図を見ての仕込み作業					
4	11月8日	仕込み図を見ての仕込み作業					
5	11月15日	仕込み作業試験					
6	11月22日	仕込み作業試験					
7	11月29日	モニタースピーカー、AUX等の説明					
8	12月6日	エフェクター、AUX等の説明					
9	12月13日	仕込み図をプラスして仕込みの練習 (SPX990)					
10	1月17日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習					
11	1月24日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習					
12	1月31日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験					
13	2月7日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験					
14	2月14日	後期試験対策他					
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で修得不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		選択 動画制作		担当講師		岡 宏樹	
講師実務経験		映像制作会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	各専攻		授業形態	実習
期 間		7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		映像作品の企画、撮影、編集について修得する。					
8期		与えられたテーマを映像で表現する表現力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	授業ガイダンス					
2	10月25日	カメラについて(設定やカメラワーク)					
3	11月1日	Premiereによるノンリニア編集について					
4	11月8日	映像の構成について					
5	11月15日	テーマに沿った映像制作Ⅰ①(企画)					
6	11月22日	テーマに沿った映像制作Ⅰ②(撮影)					
7	11月29日	テーマに沿った映像制作Ⅰ③(編集、カラーコレクション)					
8	12月6日	テーマに沿った映像制作Ⅰ④(テロップ、MA、完成)					
9	12月13日	テーマに沿った映像制作Ⅱ①(企画)					
10	1月17日	テーマに沿った映像制作Ⅱ②(撮影)					
11	1月24日	テーマに沿った映像制作Ⅱ③(編集、カラーコレクション)					
12	1月31日	テーマに沿った映像制作Ⅱ④(テロップ、MA、完成)					
13	2月7日	完成作品の試写、ディスカッション					
14	2月14日	試験対策					
15							
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		2年 REC選択実習		担当講師		金沢 琢司	
講師実務経験		株式会社スタジオバードマン勤務(平成5年～平成13年)					
対象学年		2 学年	対象専攻	A/B組選択		授業形態	実習
期 間		7～8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		スタジオ録音機材の概要についての知識を修得する。					
8期		録音現場の基本作業を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	スタジオ内部システムの概要					
2	10月25日	調整卓の基本操作とマイクロフォンについて					
3	11月1日	外部エフェクタの概要(ダイナミック系)					
4	11月8日	外部エフェクタの概要(センドリターン系)					
5	11月15日	ProToolsの基本操作について					
6	11月22日	ブース内でのマイクセッティングについて					
7	11月29日	ブースからコントロールルームまでの信号の流れについて					
8	12月6日	録音実践1(マイクセッティング～回線チェック～調整～録音)					
9	12月13日	録音実践2(マイクセッティング～回線チェック～調整～録音)					
10	1月17日	録音実践3(マイクセッティング～回線チェック～調整～録音)					
11	1月24日	MIX実践1(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)					
12	1月31日	MIX実践2(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)					
13	2月7日	MIX実践3(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)					
14	2月14日	MIX実践4(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)					
15							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		マスメディア		担当講師		高橋 学	
講師実務経験		映画会社取締役、映像会社代表					
対象学年		2 学年	対象専攻	コンサート、スタジオ、サウンド3専攻		授業形態	講義
期 間		7期・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
7期		映像の基本的なルールをいろいろコンテンツを使用して修得する。					
8期		映像の基本的な知識や技術をいろいろコンテンツを使用して修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月12日	授業ガイダンス					
2	10月19日	映像の基本的なルール①(基本編)について					
3	10月26日	映像の読み取り能力①(基本編)について					
4	11月2日	映像の基本的なルール②(応用編)について					
5	11月9日	映画、テレビ、CM、PV、Webコンテンツのそれぞれの映像の特徴					
6	11月16日	プリプロダクションにおける映像の知識①(基本編)					
7	11月30日	プリプロダクションにおける映像の知識②(応用編)					
8	12月14日	プロダクションにおける映像の知識①(基本編)					
9	1月18日	プロダクションにおける映像の知識②(応用編)					
10	1月25日	ポストダクションにおける映像の知識①(基本編)					
11	2月1日	ポストダクションにおける映像の知識②(応用編)					
12	2月8日	最新の映像技術について					
13	2月15日	映像の読み取り能力②(応用編)について					
14							
15							
評価方法		定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価方法:A					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		著作権論		担当講師		鈴木 雅光	
講師実務経験		イベント制作会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	コンサート、スタジオ、サウンド3専攻		授業形態	講義
期 間		7期・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
7期		音楽業界に関わる上で必要な音楽業界のしくみや流通戦略について修得する。					
8期		著作権収入及び著作権法での問題点を理解し、知識を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月12日	授業ガイダンス、著作権とは、音楽創造サイクル、音楽産業の歴史について					
2	10月19日	音楽業界の代表的な職種と役割について					
3	10月26日	メジャーレーベルについて					
4	11月2日	CDの存在を知るため、CDクレジットの中身について					
5	11月9日	アーティストの発掘及びCDが出来るまでの詳細について					
6	11月16日	アーティスト活動の種類、アーティストのギャラ構造、著作隣接権について					
7	11月30日	著作権と知的財産権、著作権と音楽出版社について					
8	12月14日	著作権用語集及び著作権問題について					
9	1月18日	アーティストの著作権収入計算について①					
10	1月25日	アーティストの著作権収入計算について②					
11	2月1日	アーティストの著作権収入計算練習問題					
12	2月8日	著作権収入小テスト					
13	2月15日	定期試験対策					
14							
15							
評価方法		定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		成績評価方法:A					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	音楽研究			担当講師	森 良太		
講師実務経験	音響会社勤務						
対象学年	2	学年	対象専攻	サウンド、コンイペ、スタジオ共通		授業形態	講義
期 間	7期・8期		総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間	
期	45 分						
7期	修 得 目 標						
8期	様々な音楽ジャンルとそのルーツについての知識を修得する。						
	実際に様々なジャンルを鑑賞し、深い知識を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月12日	授業ガイダンス					
2	10月19日	ブラックミュージックについて①					
3	10月26日	ブラックミュージックについて②					
4	11月2日	ブラックミュージックについて③					
5	11月9日	カントリー、ロックンロールについて					
6	11月16日	ポップス、エレクトロニカについて					
7	11月30日	クラシックについて					
8	12月14日	民俗音楽について					
9	1月18日	オルタナティブについて					
10	1月25日	その他のマイナージャンルについて					
11	2月1日	ブラックミュージック、ジャズ、ポップス、ロックの鑑賞					
12	2月8日	クラシック、エレクトロニカ、オルタナ、民族音楽の鑑賞					
13	2月15日	試験対策					
14							
15							
評価方法	定期試験点数(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:A						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名		カラーコーディネイト論		担当講師	木村 真祐美	
講師実務経験		カラーコーディネーター、カラーセラピスト				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	講義
期 間	7期・8期	総授業回数	7(6) 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標				
7期		色の持つ効果を知り、仕事に役立つ実践的な色彩の基礎知識を修得する。色彩を身近に感じ、楽しみ興味を持って活用できることを修得する。				
8期		色に関する感性を磨き、自分の似合う色を発見し相手に与える印象を高め、ビジネスシーンで色彩活用ができることを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月12日	授業ガイダンス 色の働きと色の見える仕組みについて				
	10月19日					
2	10月26日	色彩基礎知識、色の感情作用、知覚的効果について				
	11月2日					
3	11月9日	色とイメージの関係について				
	11月16日					
4	11月30日	パーソナルカラー(似合う色)について				
	12月14日					
5	1月18日	カラーセラピー(色彩心理)について				
	1月25日					
6	2月1日	試験対策				
	2月8日					
7	2月15日	色彩調和(配色テクニック)について				
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
評価方法		定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
		成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト						
注意事項	21(18)時間中8(7)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		CAD実習Ⅲ		担当講師	佐藤 直子
講師実務経験		建築士.インテリアコーディネーター			
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態
期 間	7・8期	総授業回数	7、6 回	1回あたりの授業時間	
期	135 分				
		修 得 目 標			
7期		基本操作+応用ツール .立体を理解し3Dび操作 図面の種類と必要性について修得する。			
8期		図面の種類と必要性について修得する。			
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	授業ガイダンス 前期の復習、企画書について 課題(店舗製作)			
	10月19日	授業ガイダンス 前期の復習、企画書について 課題(店舗製作)			
2	10月26日	課題(店舗製作) コンセプト 計画			
	11月2日	課題(店舗製作) 平面図.立面図.製作			
3	11月9日	課題(店舗製作) 平面図.立面図.製作			
	11月16日	課題(店舗製作) デザイン 互換性			
4	11月30日	発表、画像とレースと縮尺について 課題(ホール)			
	12月14日	発表、画像とレースと縮尺について 課題(ホール)			
5	1月18日	課題(ホール)			
	1月25日	課題(ホール)			
6	2月1日	3D機能について(応用) スキャナーについて 課題(ホール)			
	2月8日	3D機能について(応用) スキャナーについて 課題(ホール)			
7	2月15日	まとめ			
-	-				
-	-				
評価方法		【C】 実技修得度(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)			
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)			
テキスト					
注意事項		21(18)時間中8(7)時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)			

科目名	DTP実習Ⅲ				担当講師	田口 広司		
講師実務経験	広告代理店のデザイナーを経て独立後、フリーランスデザイナーとして、グラフィックやWEB、映像など様々な媒体の広告制作を行っています。							
対象学年	2	学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	実習	
期 間	5期・6期	総授業回数	7・6	回	1回あたりの授業時間		135	分
期	修得目標							
5期	Illustrator、Photoshopの使用方法を修得。1年生で学んだことを応用し作品を制作を修得する。							
6期	Illustrator、Photoshopの使用方法を習得し、イベントのプロモーション業務に必要な印刷物の基礎技術を修得する。							
回数	日程	【授 業 計 画】						
1	4月14日	自己紹介 / 授業ガイダンス / 1年生で習った基本的な操作のおさらい						
	4月21日	自己紹介 / 授業ガイダンス / 1年生で習った基本的な操作のおさらい						
2	4月28日	印刷方法、レイアウトの4原則+1について学ぶ / 既存のデザインを見て技術を学ぶ						
	5月19日	印刷方法、レイアウトの4原則+1について学ぶ / 既存のデザインを見て技術を学ぶ						
3	5月26日	イベントのチラシを作る1(制作するデザインを考える)						
	6月2日	イベントのチラシを作る1(制作するデザインを考える)						
4	6月9日	イベントのチラシを作る2(考えたデザインを実際に作ってみる)						
	6月16日	イベントのチラシを作る2(考えたデザインを実際に作ってみる)						
5	6月23日	イベントのチラシを作る3(考えたデザインを実際に作ってみる)						
	6月30日	イベントのチラシを作る3(考えたデザインを実際に作ってみる)						
6	7月7日	イベントのチラシを作る4(発表)						
	8月18日	イベントのチラシを作る4(発表)						
7	8月25日	後期に向けた講義						
	-							
評価方法	C評価							
	平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)							
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト								
注意事項	21(18)時間中 8(7)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)							

科目名		PA基礎実習			担当講師		森 良太	
講師実務経験		音響会社勤務						
対象学年		2	学年	対象専攻	コンサートイベント専攻		授業形態	実習
期 間		7期・8期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標						
7期		様々なシチュエーションでの仕込みからオペレーターの技術を修得する。						
8期		役割分担、台本制作、音響の全てを自分たちで行い、確実な知識と技術を修得する。						
回数	日程							
1	10月13日	授業ガイダンス及び前期の復習						
2	10月20日	授業ガイダンス及び前期の復習						
3	10月27日	トーク会を想定しての仕込みとオペレート						
4	11月10日	トーク会を想定しての仕込みとオペレート						
5	11月17日	朗読会を想定しての仕込みとオペレート						
6	11月24日	朗読会を想定しての仕込みとオペレート						
7	12月1日	結婚式を想定しての仕込みとオペレート						
8	12月15日	結婚式を想定しての仕込みとオペレート						
9	1月19日	全てを自分たちで行うイベントを想定しての仕込みとオペレート						
10	1月26日	全てを自分たちで行うイベントを想定しての仕込みとオペレート						
11	2月2日	実技テスト						
12	2月9日	実技テスト						
13	2月16日	試験対策						
14								
15								
評価方法		定期試験点数(70%)実技修得度(30%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:B						
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト								
注意事項		39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名		プレゼンテーション		担当講師	横山 聡史	
講師実務経験		広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	演習
期 間	7・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標				
7期		「イベントプランニング」授業と連動し、企画のための情報収集と、提案・説得能力について修得する。				
8期		グループ内、および他の専攻とのコミュニケーションを深め、共同作業を進めることで、来場者にとってより良いイベントを作り上げる工程を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月13日	グループ分けを行い、企画テーマについてオリエンテーション。 グループごとに基本的な案出し(ブレインストーミング)を行い、課題解釈力と企画工程を学ぶ。				
2	10月20日	企画実習① 情報やデータ収集とともに、円滑なコミュニケーションを保ちながら企画を形にしていく工程を学ぶ。				
3	10月27日	企画実習② 自らの企画を再考し、より良い内容にしていく工程を学ぶ。				
4	11月10日	企画実習③ 出された案を整理・統合し、企画案としてまとめていく工程を学ぶ。				
5	11月17日	企画実習④ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。				
6	11月24日	企画実習⑤ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。				
7	12月1日	企画実習⑥ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。また関連する各コースに対し、的確に情報を伝達する必要性を学ぶ。				
8	12月15日	1・2班シミュレーションに基づき、課題点を明らかにするとともに改善方法を見出す工程を学ぶ。				
9	1月19日	3班シミュレーションに基づき、課題点を明らかにするとともに改善方法を見出す工程を学ぶ。				
10	1月26日	1班イベント本番を終え、自班の反省と、他班からの課題事項を指摘することで、改善点を検討する。				
11	2月2日	2班イベント本番を終え、自班の反省と、他班からの課題事項を指摘することで、改善点を検討する。				
12	2月9日	3班イベント本番を終え、自班の反省と、他班からの課題事項を指摘することで、改善点を検討する。				
13	2月16日	実施案／現場研修の総まとめ				
14	-					
15	-					
評価方法		【A】 定期試験点数(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト						
注意事項		39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名		舞台デザイン		担当講師		千葉彩乃	
講師実務経験		コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事					
対象学年		2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	演習
期 間		7・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
7期		ステージ・舞台設営の基本、デザイン立案、状況に適した事前準備を学び修得する。					
8期		テーマに沿ってディスカッションをし、時間配分、協調性、想像力を修得する。 考えやアイデアを実際にプレゼンし、コミュニケーション力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月14日	授業ガイダンス / コンサートステージ、ライブステージ、芝居舞台の違い-①					
2	10月21日	コンサートステージ、ライブステージ、芝居舞台の違い-①					
3	10月28日	日本と海外のコンサート・ライブの違い					
4	11月4日	ライブ・コンサート映像を題材に仮設ステージについて					
5	11月11日	ライブ・コンサート映像を題材にディスカッションを実施					
6	11月18日	アリーナコンサートにおける必要備品について					
7	11月25日	『テーマ①』についてのディスカッション実施					
8	12月2日	『テーマ①』についてのプレゼンテーション / プレゼンテーション実施後の意見交換					
9	12月16日	野外フェス現場における必要備品について					
10	1月20日	短編アニメ・小説を題材にクラス内でのディスカッションを実施					
11	1月27日	アニメのシーンを題材に、舞台セットを考える					
12	2月3日	『テーマ②』についてのディスカッション実施					
13	2月10日	『テーマ②』についてのプレゼンテーション / プレゼンテーション実施後の意見交換					
14	2月17日	『テーマ②』意見交換におけるレポートの作成、提出					
15	-						
評価方法		【B】 定期試験点数(50%)＋実技修得度(50%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		就職ガイダンス		担当講師		一岡永	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		2 学年	対象専攻	2年A組、B組		授業形態	講義
期 間		7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
7期		社会人に必要な基礎知識を修得する。					
8期		社会人に必要なビジネスマナーを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月14日	新社会人の心得					
2	10月21日	新入社員 仕事の進め方について					
3	10月28日	各種保険、年金、税金の概要①					
4	11月4日	各種保険、年金、税金の概要②					
5	11月11日	名刺交換について					
6	11月18日	仕事の目標設定について					
7	11月25日	業界の仕事の繋がりについて					
8	12月2日	来客対応の基本とコツ					
9	12月16日	新社会人の心得①					
10	1月20日	新社会人の心得②					
11	1月27日	新社会人の心得③					
12	2月3日	新社会人の心得④					
13	2月10日	新社会人の心得⑤					
14	2月17日	総まとめ					
15							
評価方法		3分の2以上の出席で修得済評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		プリント配布					
注意事項		14時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		時事研究		担当講師		國本 昌秀	
講師実務経験		元HTB北海道テレビ勤務（記者・デスク、ディレクター、プロデューサーなど）					
対象学年		2 学年	対象専攻	2年A,B組		授業形態	講義
期 間		後期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
7期		ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動への活用法を修得する。					
8期		ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月14日	授業ガイダンス 習得目標について					
2	10月21日	岸田政権就任1年					
3	10月28日	直近のニュースについて					
4	11月4日	直近のニュースについて					
5	11月11日	直近のニュースについて					
6	11月18日	直近のニュースについて					
7	11月25日	直近のニュースについて					
8	12月2日	2022年ニュース振り返り①					
9	12月16日	2022年ニュース振り返り②					
10	1月20日	2023年はどんな年					
11	1月27日	直近のニュースについて					
12	2月3日	直近のニュースについて					
13	2月10日	直近のニュースについて					
14	2月17日	講義振り返り					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業でプリント配布					
注意事項		14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）					